



春だ、でかけよう。

暖くなり、でかけるには良い季節となりました。どこにでかけようか、
と思っている方のお手伝いを、図書館がいたします。



おでかけの前に

流山市の図書館には、いろいろな旅行案内が
あります。旅行案内といっても、遠くにある有名な
観光地が載っているものばかりではありません。
千葉や東京のおでかけスポットを案内したものもありますので、
ぜひご利用ください。



旅行案内はおもに請求記号290番台の書架にあります、
遊園地や鉄道、道の駅については600番台の書架にもあります。

博物館で遊ぼう

絵を見たい、動物を見たい、
など興味が定まっている方は美術館や
博物館、動物園や水族館はいかがでしょう。
家族や仲間と遊びに行くのはもちろん、1人で
じっくり見るのもおすすめです。

詳しい案内は、美術館が請求記号700番台、
科学博物館や水族館が400番台の書架にあり
ます。特にゴールデンウィーク中は入場料が無料に

なる日もあるので、インターネットで調べてから出かけるといいかもしれません。
木の図書館では、調べもの用にインターネット検索用PCを3台ご用意しています。



ながれやま東部地域を再発見

観光地やおでかけスポットに行くだけが、おでかけの楽しみ方
ではありません。清瀧院や前ヶ崎城址、富士見川など、地元の
流山をふらりと散歩するだけでも楽しむことができます。

流山市の図書館では、地元の郷土資料を数多く所蔵しています。
流山市立博物館友の会編「楽しい東葛ウォーク事典」を始め、
楽しい読み物から深く郷土史を探究したものまでありますので、
これらで下調べをしてから出かけるもよし、ふらりと散歩した
ときに気になったものを後から調べるのもまたよいでしょう。





新しい町で 新しい暮らし



山本一力/著
『あかね空』(文芸春秋)
～親子二代の人情噺～

豆腐職人の永吉が上方から江戸へ下ってきたのは25才の夏。12才から甘い物も酒も口にしないで貯めた銀600匁と、奉公先からのはなむけの銀300匁。しめて銀900匁

と、5尺9寸(179cm)の体だけを元手に、永吉は深川で商いをはじめたのでした。やがて、おふみという伴侶を得て三人の子も授かるのですが・・・

永吉の家族が暮らした町は、現在の東西線 門前仲町駅付近。古地図がなくても、永代寺、富岡八幡宮、深川不動尊と小説の舞台を巡ることができます。



この本もおすすめてです!



重松 清/著
『希望ヶ丘の人々(上)』
(小学館)



吉永 南央/編
『アンジャーネ』
(東京創元社)



他にこんな本もあります!



舞台は下町谷中。女二人が東京で暮らし始めたのには理由(ワケ)がありました。つらい事があっても一緒にご飯を食べて、二人で笑い飛ばせる幸せがつつたわってきます。

乃南 アサ/著
『いつか陽のあたる場所で』
(新潮社)



ひきこもりから米作りへ。大好きだった蓼科のばあちゃんからの年賀状が、主人公にとっての大事な一歩でした。すがすがしい山の空気まで感じられる一冊です。

原田 マハ/著
『生きるぼくら』
(徳間書店)

知って得する!

図書館活用術 vol.15



●「市民の方は、江戸川大学の図書館を利用することができます」

流山市立図書館では江戸川大学と相互協力を行っています。流山市民は無料で江戸川大学総合情報図書館をご利用いただけます。ご利用にあたっては、事前に市立図書館への申請が必要です。

- 対象年齢
高校生以上の流山市民の方(流山市立図書館の利用登録をしている方)
- ご利用の登録
お近くの市立図書館に、図書館の「利用カード」とお名前・ご住所を確認できるものを持って、カウンターにお申し出ください。市立図書館で手続き後の「利用カード」を持って、江戸川大学へお出かけください。
- ご利用方法
市立図書館での登録手続きの際、「江戸川大学図書館利用の手引き」をお渡ししますので、ご確認の上でご利用ください。
- ご利用上の注意
 - *江戸川大学総合情報図書館のホームページにて、開館日をご確認の上でお出かけください。
 - *駐車スペースはありませんので、公共の交通機関をご利用ください。

バースデイおはなし会

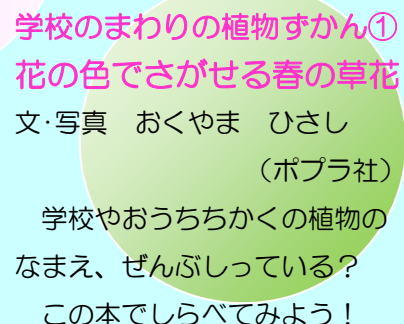
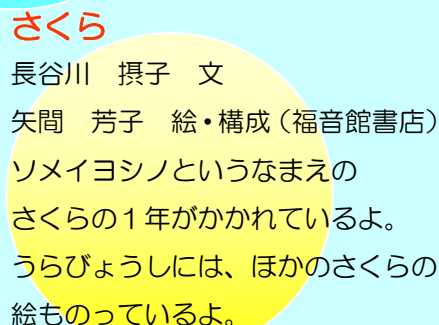
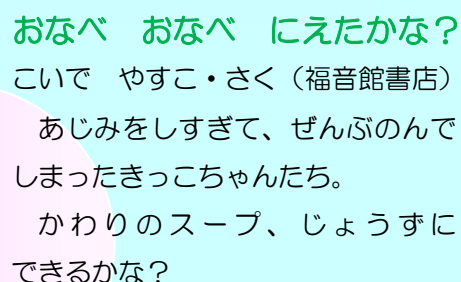
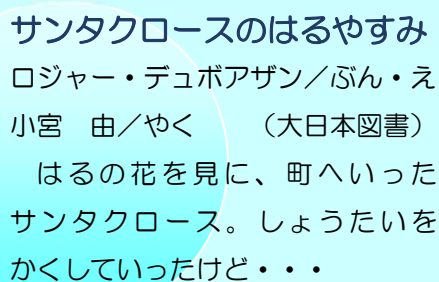
大人の部
10:00~10:30

こどもの部
14:30~15:00

あかちゃんの部
11:00~11:15

時間は
こうなっているよ！
まちがえないように
きをつけてね！！

こんかい、4さつしょうかいするよ!





これからの木の図書館

連絡先

木の図書館

電話: 04-7145-8000

開館時間変更のお知らせ

流山市立図書館では、2018年度より一部の館の開館時間が変更となります。

木の図書館の開館時間は、通年で下記となります。

火曜日～土曜日 : 9時30分～19時

日曜日・祝日
夏休み期間中の月曜日 : 9時30分～17時



郷土へのいざない vol. 15

～流山の戦国時代 3. 流山の城の最期～



「深井城」は、流山市の北部、西深井にあったとされています。1890年（明治23年）の利根運河の工事によって、主な遺構は破壊されたと考えられていますが、今日でも不動堂西側あたりには、遺構と思われる地形がわずかに残っています。深井城は高城氏の支配領域の北端にあたり、関宿城主梁田氏の領域に接する重要な城であったと考えられます。『本土寺過去帳』からも、戦国時代の深井や野田付近で抗争が繰り返されていたことがうかがえます。

深井城主の名は、小金城主高城胤則の後見のひとりとして、安藤伊予守とその後を継いだ弟豊前守が『千葉県東葛飾郡誌』に記されています。

1590年（天正18年）豊臣秀吉が、北条氏政、北条氏直らを攻め、これを滅ぼした小田原征伐で、小金城主の高城氏も北条氏への援軍のため小田原城に出兵します。その時の小金城の留守居役が、安藤伊代守でした。豊臣秀吉の小田原征伐で北条氏は敗北し、小金城は開城となりました。「花輪城」「深井城」も「前ヶ崎城」「名都借城」と同じくそのころに廃城となりました。

参考資料「ふるさと流山のあゆみ」 編集 流山市立博物館 発行 流山市教育委員会

「流山のむかし」 編著 流山市立博物館 発行 流山市教育委員会

「中世の流山を探る」 編集・発行 流山市教育委員会 流山市立博物館

4月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

5月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

6月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

は休館日

は17:00まで開館

はおはなし会

はイベント

はあかちゃんおはなし会

木の図書館カレンダー

休館日 月曜日（祝日の場合は火曜日）
月末日（土・日・祝日を除く）

開館時間 火曜日～土曜日: 9時30分～19時
日曜日、祝日: 9時30分～17時